

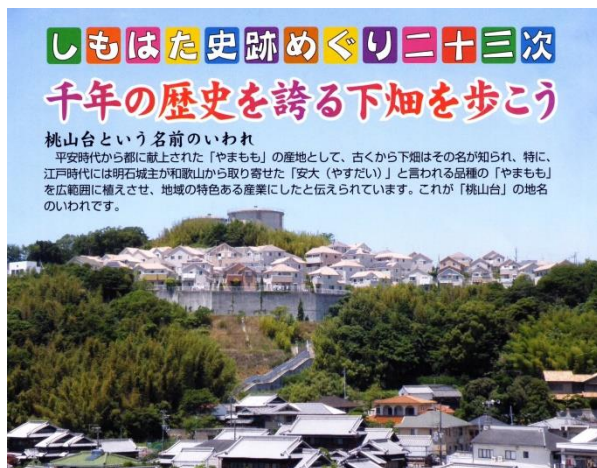
◎旗振支部

◆しもはた史跡めぐり

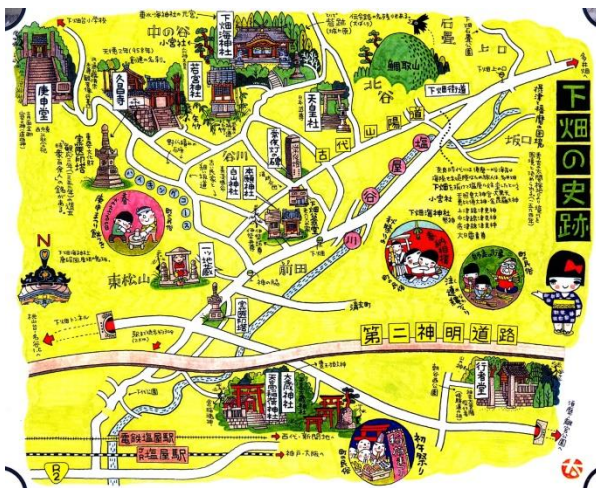
(山考房きたの)

5月16日(水)

さわやかな新緑の五月の風に誘われて、地元の隠れた史跡めぐりに繰り出しました。旗振茶屋の森本オーナーからの紹介で、郷土史家・写真家正木真一郎氏を案内役講師として25名が参加し、和やかにウォークを楽しみました。



正木氏が作成した「史跡めぐり二十三次」資料。



下畑地区は旗振山の西に位置し塩屋町と名谷町に挟まれた地域で、近代化の押し寄せの中で、古代からの史跡や文化遺産を大切に護って、落ち着きを保っている町だと感心しました。



歩くうち、庚申堂をはじめ立派な社寺が次々に。



途中、全員で記念写真をパチリ。笑顔が広がる。



すごろく遊びのように、二十三の史跡にたどり着く毎に正木講師が丁寧な説明をして下さる。ここの住民にして研究者ならではの説明に感服。



昼食は、地区の会所をお借りして全員くつろぐ。



最後に旧神明浴いの「乙姫神社」、平清盛が建てたと伝わり、浦島伝説も残る。

山の会にしては頭と足を同時に鍛えるイベント。正木さん、森本さん有難うございました。